

空気

先日、友人から良い話を聞いたのでご紹介します。

ある女性のご主人はとても真面目な人でした。

毎日のようにお酒を飲まないで、まっすぐに家に帰って来るし、休日は家で本を読んでいるような人でした。

結婚するときは、真面目な人と結婚するのが一番幸せだと思っていた彼女ですが、活動的な彼女は、ご主人のこの性格がだんだん不満になってきました。

もっと、二人で旅行に行ったり、スポーツをしたり、外食を楽しんだり、いろいろなことを体験したいと思っていました。

ある日、彼女はご主人に、

「あなたの性格にはついていけません。退屈な毎日が嫌になったのもう一緒に暮らせません」

と言って、家を出てしまいました。

1人で旅行をしたり、外食を楽しんだり遊び回っていたのですが、いつまでもそのような生活は続きませんでした。

遊び回る生活に飽きた彼女はある日、友人の家に泊めてもらったときに、

「もう一度、ご主人に嫌なところをしっかりと伝えて、直してもらえばいいじゃない」

と友人に説得されて、家に戻ることにしました。

そして、彼女はご主人に、

「1週間に一度はレストランに食事に行くこと、年に3回は旅行に行くこと……」

などいろいろと要望を言いました。

何も言わずに黙って聞いていたご主人にイライラした彼女は、

「あなたも私に言いたいことがあると思うの、この際だから言ってくれる？」

と尋ねました。

ご主人は、

「私の望みは、あなたが幸せになることだけだから……」

と彼女を見つめて静かに話しました。

私もそうですが、本当の幸せに気づかないで相手に不満を言ってしまうことがあります。

人は空気を毎日、当たり前のように吸っていますが、無くなれば2分も生きられません。

自分の周りにいる空気のように、当たり前で大切な人に気づくことが必要です。

身近な人間関係では、相手の「してくれること」が当たり前のことになってしまって、

「してくれないこと」ばかりに不満が溜まってしまいます。

その人の足りないところばかりに注意が向けられて相手を攻撃してしまいます。

最後には、この奥さんのように相手の性格が嫌になってしまいます。

性格に「良い性格」も「悪い性格」もありません。

一人一人の考え方の違いがあるだけです。

相手との違いを理解して、

「してくれないこと」ではなくて、

「してくれること」に感謝することが大切です。